



村松幼稚園 ● すずきゆうが 鈴木結夏ちゃん

### 縄跳び(なわとび)

家の庭で幼稚園の友達と一緒に、縄跳びをしているところを描いてくれた結夏ちゃん(5歳)。

「縄跳びが大好き!たくさん跳べるようになったよ!」と、うれしそうに話してくれました。

# ぼくの夢 Dream-85 わたしの夢



夢は…。“天文学者”

白方小学校6年 ● 仲川 駿

僕の将来の夢は天文学者になることです。そして、さまざまな星について調べてみたいです。

天文学者になりたいと思ったきっかけは、4年生の理科の授業です。その授業で、オリオン座やはくちょう座などの星は、それぞれに大きさや明るさに違いがあるということを知りました。その時まで僕は、星をみんな同じにしか見ていなかったのととても驚きました。それともう一つ、“すばる望遠鏡”がとらえたはるかかなたの宇宙の写真が、とても美しく魅力的だと感じたことです。こうしたことから星に興味がわき、天文学者になりもっと星について調べてみたいと思うようになったのです。

僕が天文学者になったら、まだ見つかっていない星を見つけたいと思います。天文学者に一歩でも近づけるように、理科の勉強を頑張りたいと思います。

## わが家の 子育て奮戦記

### 表紙の「ひと」 かみや まりこ 神谷 万里子



初めてのわが子を目にするまで、赤ちゃんというのはいくらも白く、ふっくらしているものだと思っていましたが、生まれてきたばかりの赤ちゃんは赤黒く、ひよろりと細くて、しわしわで、思わず……「スター・ウォーズ」(洋画)に登場する長老の戦士「ヨーダ」を連想してしまいました。

子どもというものは、何だか意見が合いそうもないし、どう対応しているのかもよく分からないし……。それまで乳幼児とはほとんど接することのなかった私は、初めての子どもとの生活がどんなものになるのか、まるで想像すらつきませんでした。出産とともに漏れなく母性本能とやらも芽生え始め、今となつては、要求されるがまま音痴なのに歌を歌い、絵心が無いのに絵を描き、時には「馬」になってカツポカツポ歩いたりしています。

息子・麟太郎(1歳11か月)の今の大ブームは、子どもたちの人気者・アンパンマン。彼にとつては、こんなに身も心もすべてをささげて毎日尽くしているこの母よりもアンパンマンの方が格が上。転んだときに泣きながら私に抱き付けて、しかし口から出るのは「アンパンマン〜」。一体誰にすがり付い

ているつもりなんだろう……。例に漏れず、ガッチリとアンパンマンにハートをつかまれているようです。そこで、アンパンマンの名をかたって歯磨きに誘ってみたり、車の中でぐずり出すと「アンパンマンのマーチ」を歌って、時にはなだめることに成功したりと、私にとつてもアンパンマンは頼れる存在になっていきます。アニメキャラクターというものには皆目無頓着だった私までもがこんなふうにもアンパンマンにお世話になってしまつとは……。やはりその人気の威力はすごい!と思います。今はただ単純にアンパンマンが大好き!という感じですが、そんな息子にアンパンマンの決め技「アンパンチ」を食らう日も近いと思います。その時はきっと「ハヒフヘホー!」と言ってしまふような気がして怖いです。

そして今では、もうすっかり生まれた時の面影もなくなつたわが家の「マスター・ヨーダ」は「ライトセーバー」(スター・ウォーズの中で使われた架空の洋剣)の代わりに使用済みの「サラップ」の芯を片手に振り回し、走り、叫び、転び、起き上がってはまた走り……。今日も元気に修行に励んでいます。